

ほこるわれらの千両校

— 千両小校長室だより 令和4年7月 No.4 —



たてわり班活動 充実中

千両小学校では、小規模校の特性を活かし、12人前後の異年齢集団を編成して活動する「たてわり班活動」を行っています。たてわり班活動の内容は多岐にわたりますが、その中でサツマイモを栽培し、お世話をする活動を紹介します。

5月31日。たてわり班ごとに割り当てられた畝にサツマイモの苗を差しました。特に、1年生は、初めて苗差しをする子が多いので、ペアの6年生が差し方を丁寧に教えます。

6月23日。育ってきたサツマイモの周りの草取りを行いました。リーダーの6年生が、草の取り残しがないよう全体を見渡して、メンバーに指示をします。自分たちでサツマイモを育てようという意識の高まりを感じます。

たてわり班活動により、子どもたちの仲間意識や年齢に応じた役割意識は、サツマイモと同様、確実に育っています。

なお、サツマイモを育てる活動は、千両会の方々のバックアップをいただいております。



地域の方々に支えられています Part 3

千両住宅方面から登校してくる児童の通学路には、道幅が一部狭く、なおかつ雑草が大きくせり出し、歩行者と自転車が往来するのが難しい 구간があります。以前、地域の方に相談したところ、さっそく千両連区長さんが自ら草刈り機を手になされ、除草をしてくださいました。通学路がすっきりし、子どもたちも通学しやすくなりました。



草刈りで通学路がすっきり

千両小や子どもたちは、地域から大事にされていることを改めて実感しました。

新型コロナウイルスの終息にはいまだ至っておりませんが、この1学期、本校の教育活動は、3密を避ける制約をしながらも、ほぼ100%実施することができました。これも、保護者の皆様や数多くの地域の方々のご理解やご支援をいただけたことが非常に大きかったと考えています。2学期も、学校に集う多くの方々と協力し、子どもの笑顔と感動があふれる教育活動を進めてまいります。今後ともよろしく願います。